

令和8年度 年間指導計画及び観点別評価基準（1年生 家庭分野）35時間

	単元・題材	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
4	家庭科ガイダンス 1、自分の成長と家族・家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を振り返り、自分の成長や生活がどのような人々に支えられてきたのか、成長の節目や具体的な活動場面を想定しながら、具体的に考えようとしている。 ・小学校での学習内容と関連付けながら、3学年間の学習の見通しを持つようとしている。 ・今の自分は、どのようなことができるのか、自分の課題を見つけ3年後の自分の理想を具体的に考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活や事例をもとに、家族の立場や役割を考える。 ・家族の一員として自分ができることを判断する。 ・地域の一員として、よりよい地域との関わり方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の機能を支える仕事を理解する。 ・家庭の仕事のうち、中学生ができる仕事を実践できる。 ・家庭生活を支える社会の仕事を理解する。
5	衣食住の生活 1、目的に応じた衣服の選択 ④ 衣服で伝わるメッセージ ④ 自分らしくコーディネート ④ つなげよう和服の文化 ④ 上手な衣服の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の働きに関心を持ち、目的に応じた着用について日常生活と結び付けながら具体的に考えようとしている。 ・衣服の働きに関心を持ち、個性を生かした着方について日常生活と結び付けながら具体的に考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりを考えるとと、具体的に目的に応じた着方を工夫している。 ・衣服と社会生活との関わりを考えるとと、具体的に個性を生かした着方について工夫している。 ・衣服のコーディネートに関心を持ち、自分らしい着方を積極的に表現しようとしている。 ・自分らしさを衣服で表現することに関心を持ち、小物なども効果的に活用した着方について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上の働きや目的に応じた着用について理解し、さまざまな生活場面と結び付けながら説明することができる。 ・社会生活との関わりを踏まえたうえで、個性を生かした着用について理解し、さまざまな生活場面と結び付けることができる。 ・和服の文化について理解する。

6 7 8	2、日常着の手入れと保管 ①まかせて衣服の手入れ ②布の繊維に応じた手入れ ③めざそう洗濯名人 (夏休み課題) ④補修や収納・保管	日常着の手入れの必要性を理解し、衣服の材料や汚れの度合いに応じた手入れやができるようになることを目指して、学習に取り組もうとしている。	既製服を選択するために、いろいろな表示や寸法から情報を収集し、整理することができる。 衣服の材料や状態に応じた洗濯やなどの手入れについて、表示などの情報を活用しながら考え、工夫している。	既製服の表示なども踏まえた適切な既製服の選択方法について理解している。 既製服の表示の意味を理解している 繊維や布の状態に合った方法を適切に選択しながら、日常着の手入れをすることができる。 (洗濯実習、夏休みの課題) 手入れの必要性と手入れの方法について理解している。
9	3、生活を豊かにするものの製作 製作の基礎・基本 ・ミシン縫い 仕上げ	自分の衣服計画を立て、環境にも配慮をしながら衣服の活用方法について考えようとしている。	目的に応じた既製服の適切な選択について複数の観点から考え、工夫している。	環境への配慮も踏まえた衣服の計画的な活用の必要性を理解している。 具体的な既製服の例を挙げ、既製服を選ぶための情報を収集し、手順に沿って整理することができる。 既製服を選択するポイントについて理解し、購入の手順を説明することができる。
10 11 12	3章 生活を豊かにするために ①生活を豊かにするための工夫をしよう <被服作品を作ろう> 製作の計画 用具の準備と使い方 基礎技能 ●なみ縫い、返し縫、まつり縫い ボタン付け	衣生活、住生活などの生活の工夫について関心をもち、布を用いた物の製作などに取り組み、衣生活又は住生活を豊かにするために実践しようとしている。		
		裁縫用具やミシンの扱い方等について、関心を持って学習しようとしている。 安全に作業しようとしている。	衣生活、住生活などの生活の工夫について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。作品に自分らしさを見出そうとしている。	布を用いた物の製作や衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。安全に気を付けて作業できる。 手縫い ミシン縫い アイロンがけ

				衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 手縫いの方法がわかる ミシンの扱い方がわかる 裁縫用具の扱い方がわかる
1	1、食事の役割と食習慣 ② 食事の役割 ② 健康によい食習慣	食事の役割について、自分の食生活の課題と結び付けながら考えようとしている。 自分の食生活を振り返り、健康に良い食習慣について考え、家庭で実践しようとしている。	自分の食生活において、これからも続けたい食習慣と改善したい食習慣について考え、家庭で実践できるよう工夫している。	食事の役割について理解し、自分の食生活の課題と結び付けることができる。 健康を支える3本の柱について理解し、健康に良い食習慣の重要性について説明することができる。
2	2、中学生に必要な栄養を満たす食事 ①中学生の発達と必要な栄養素 ②栄養素の働きと6つの基礎食品群・水の働き	栄養素の種類と働きについて関心を持ち、栄養素をバランス良くとる必要性について考えようとしている。 生命と水の働きについて関心を持ち、進んで調べようとしている。 中学生に必要な栄養素の特徴について関心を持ち、自分の食事と関わらせて考えようとしている。		栄養素の種類と働きについて理解している。 体内での水のおよその割合と働きについて理解している。 中学生の時期に必要な栄養の特徴について理解し、理由とともに説明することができる。 食品成分表を使い、食品の成分をグラフに表すことができる
3	③栄養バランスを目で見て判断	食品成分表を使い、身近な食品の栄養的な特徴を調べようとしている。 五大栄養素と6つの食品群の関係と、食品の分類の仕方について、関心をもって知ろうとしている。		食品成分表の意味と見方を理解している。 食品を6つの食品群に分類できる 身近な食品を6つの食品群に分類し、各群を組み合わせてとることの意味を理解している。